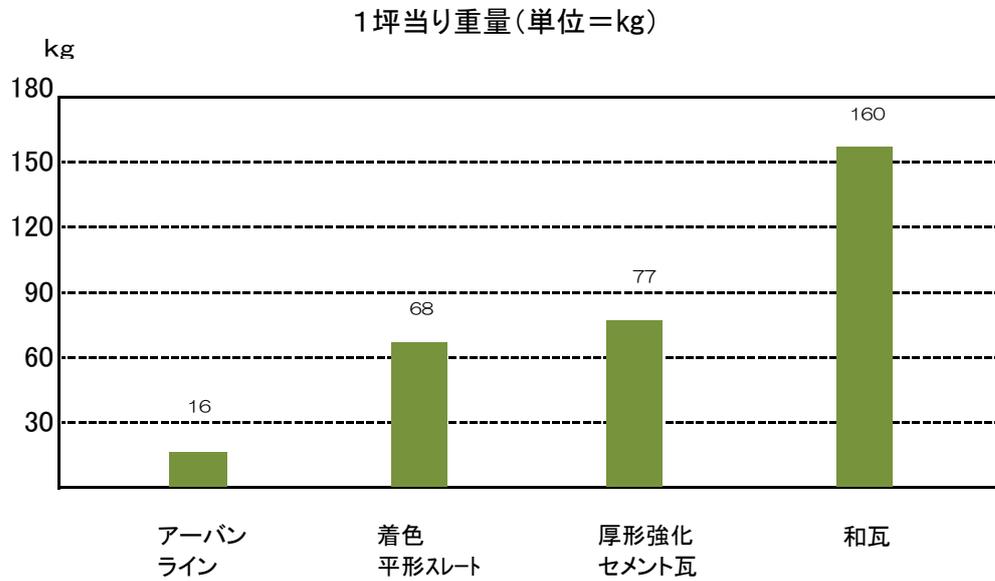
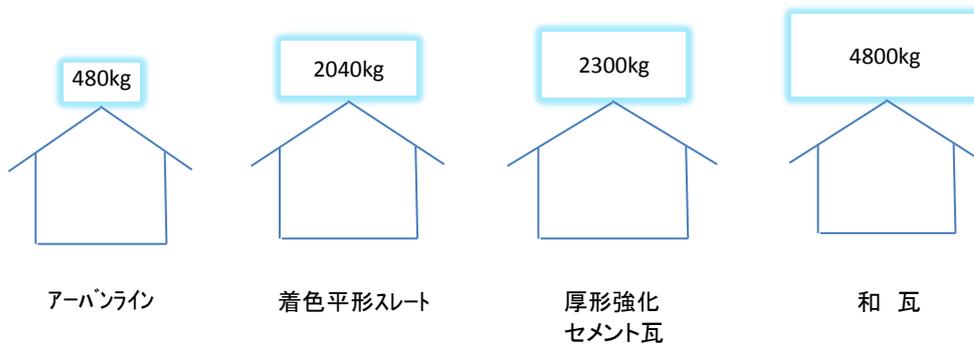


① 軽量で耐震性に優れた構造

家の寿命は、30年以上と長期に渡りますが、重い屋根は年を経るにつれて家にとって負担となります。天災多発国日本では、軽い屋根が安心といえます。



30坪の屋根の総重量



淡路島で震度6弱

「阪神」以降最大

M6.3 重軽傷23人

13日午前5時33分ごろ、兵庫県淡路島付近を震源とする強い地震があり、兵庫県淡路市で震度6弱、同県南あわじ市で震度5強、近畿地方を中心に中部から九州の広い地域で震度5弱〜1の揺れを観測した。気象庁によると、震源の深さは約15キロで、地震の規模を示すマグニチュード(M)は6.3と推定。1995年1月17日の阪神大震災(M7.3)以降、この地域で発生した地震としては最大となった。

(6、7面に関連記事)

近畿地方で震度6弱を観測したのも阪神大震災以来。午後1時現在、最大で震度3を含む震度1以上の余震が11回発生している。大阪管区気象台は「震度5弱程度の余震に1週間程度は警戒が必要」と呼びかけた。同気象台によると、今回

の地震は地殻内の活断層で発生し、震源は阪神大震災を引き起こした野島断層など断層帯の南端に位置。阪神大震災は主に断層が平面的にずれ動く「横ずれ断層型」だったが、今回は東西に押し合う力が働いて縦にずれ「逆断層型」だった。



東日本大震災の影響は分からないという。海面変動は観測されておらず、津波の恐れはないとしている。気象庁は今回、高層ビルなどがゆっくり揺れる長期地震動が発生し、淡路島

での揺れは小さい方から2番目の「階級2」だったと発表した。長周期地震動の観測情報は先月28日から公表し、階級2の観測は初めて。

地震の影響で、避難しよ

うと自宅窓から飛び降りた淡路市の男性(84)が足を骨折▽兵庫県明石市と福井県敦賀市で高齢女性がベッドから落ちて腰などを骨折―など、けが人が相次いだ。各府県などによると、正午現在のけが人は重傷7人、軽傷16人の計23人。

大阪府で民家の土壁が崩れたり、水道管が破損するなどした。大阪ガスによると、安全装置が作動するなど近畿2府3県で約6万件のガス供給が止まった。

交通機関にも影響が出た。JR各社によると、始発から運転を見合わせた山陽新幹線・新神戸―岡山間



強い揺れで瓦が落ちた民家―兵庫県洲本市で13日午前9時36分、本社ヘリから山崎一輝撮影